設計内容説明書

専用部分（第一面）

【バリアフリー性　高齢者等配慮対策等級3以上の住宅】

建築物の名称	●●様邸新築工事

確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
	項目	設計内容	記載図書	
部屋の配置等	特定寝室と同一階にある部屋	■ 便所 （ 特定寝室 1 階、室名： 和室 ）	□ 仕様書 ■ 平面図 □	
段差	玄関	■ くつずりと玄関外側の段差 （ 10 ） mm ≦ 20mm くつずりと玄関土間の段差 （ 5 ） mm ≦ 5mm	□ 仕様書 ■ 平面図 □	
	浴室出入口	■ 単純段差 （ 9 ） mm ≦ 20mm □ またぎ段差 （ ） mm ≦ 180mm（内外の高低差120mm以下）＋ 手すり設置		
	バルコニー出入口	・非接地住宅のみ記入 □ 単純段差 （ ） mm ≦ 180mm（踏み段を使用の場合は360mm以下） □ 単純段差 （ ） mm ≦ 250mm ＋ 手すり下地設置 □ またぎ段差 （ ） mm ≦ 180mm ＋ 手すり下地設置 （踏み段を使用の場合は屋内側180mm以下、屋外側360mm以下） ＊踏み段：奥行き300mm以上、幅600mm以上、ﾊﾞﾙｺﾆｰの端との距離1,200mm以上、かつ、１段であるものに限る。		
	居室の一部に基準に適合する範囲で設ける段差	■ 居室の一部に基準に適合する範囲で設ける段差なし □ 居室の一部に基準に適合する範囲で設ける段差あり ・ 300mm ≦ 段差 （ ） mm ≦ 450mm □ 段差部分の方が高い □ 介助用車椅子の移動を妨げない ・ 居室面積 （ ） ㎡ ・ 3㎡ ≦ 段差部分の面積 （ ） ㎡ ＜ 9㎡(居室面積18㎡以下の場合居室面積の1/2) ・ 段差部分の間口 （ ） mm ≧ 1,500mm ・ 段差部分面積の合計 （ ） ㎡ ＜ 居室面積の1/2		
	その他（日常生活空間外）	・ 室名 （ ） ・ 段差 （ ） mm		
階段	勾配等	■ ・ 勾配 （ 200/227 ） ≦ 22/21 ・ 550mm ≦ 蹴上×2＋踏面 （ 627 ） mm ≦ 650mm ・ 踏面 （ 227 ） mm ≧ 195mm □ ホームエレベーター設置	□ 仕様書 ■ 平面図 □ 詳細図 □	
	蹴込み	■ 蹴込 （ 30 ） mm ≦ 30mm □ ホームエレベーター設置		
	形状	・回り階段のみ記入 □ 勾配等の基準を適用（狭い方から300mmの位置で規定寸法を確保） □ 勾配等の基準を適用しなくてもよい部分に該当 □ ホームエレベーター設置		
	基準	■ 令第23条から第27条までの基準に適合		
手すり	階段	■ 設置箇所 （ ■ 片側 □ 両側（勾配45度を超える場合）） 踏面先端からの手すり高さ （ ） mm （手すり高700mm～900mm） □ ホームエレベーター設置	□ 仕様書 □ 仕上表 ■ 平面図 □	
	動作補助手すり	・ 便所 （ ■ 立ち座り用設置 ） ・ 浴室 （ ■ 浴槽出入用設置 ） ・ 玄関 （ □ 上がりかまちの昇降、靴着脱用設置 ■ 設置可 ） ・ 脱衣室 （ □ 衣服着脱用設置 ■ 設置可 ）		
	バルコニー転落防止	■ 腰壁等の高さ （ 1150 ） mm ≧ 1,100mm □ 650mm ≦ 腰壁等の高さ （ ） mm ＜ 1,100mm 床面から1,100mm以上の位置に設置 □ 300mm ≦ 腰壁等の高さ （ ） mm ＜ 650mm 腰壁等から800mm以上の位置に設置 □ 腰壁等の高さ （ ） mm ＜ 300mm 床面から1,100mm以上の位置に設置 □ 該当なし		
	２階以上の窓転落防止	■ 窓台等の高さ （ 900 ） mm ≧ 800mm □ 650mm ≦ 窓台等の高さ （ ） mm ＜ 800mm 床面から800mm（3階以上1,100mm）以上の位置に設置 □ 300mm ≦ 窓台等の高さ （ ） mm ＜ 650mm 窓台等から800mm以上の位置に設置 □ 窓台等の高さ （ ） mm ＜ 300mm 床面から1,100mm以上の位置に設置 □ 該当なし（転落のおそれのある開放可能な窓なし）		

20140904

設計内容説明書

専用部分（第二面）

【バリアフリー性　高齢者等配慮対策等級3以上の住宅】

確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
	項目	設計内容	記載図書	
手すり	廊下･階段（開放されている側）転落防止	■ 腰壁等の高さ　（ 1050 ） mm ≧ 800mm □ 650mm ≦ 腰壁等の高さ （　　） mm ＜ 800mm 床面・踏面先端から800mm以上の位置に設置 □ 腰壁等の高さ （　　） mm ＜ 650mm 腰壁等から800mm以上の位置に設置 □ 該当なし（転落のおそれのある廊下・階段なし）	□ 仕様書 □ 仕上表 ■ 平面図 □	
	手すり子	□ 手すり子*内法 （　　） mm ≦ 110mm ＊手すり子：床面・踏面の先端及び腰壁等又は窓台等（腰壁等又は窓台等の高さが650㎜未満の場合に限る。）からの800mm以内の部分に存するものに限る。 ■ 該当なし		
通路及び出入口の幅員（日常生活空間）	通路	■ 通路最小有効幅員 （ 780 ） mm ≧ 780mm □ 柱等の箇所 （　　） mm ≧ 750mm	□ 仕様書 ■ 平面図 □	
	出入口（バルコニー・勝手口を除く）	■ 玄関出入口有効幅員 （ 800 ） mm ≧ 750mm ■ 浴室出入口有効幅員 （ 670 ） mm ≧ 600mm ■ その他の出入口 （ 780 ） mm ≧ 750mm（軽微な改造を含む）		
寝室、便所及び浴室（日常生活空間）	浴室	■ 短辺内法 （ 1,650 ） mm ≧ 1,300mm ＋ 内法面積 （ 2.72 ） ㎡ ≧ 2.0㎡ （共同住宅等の場合は短辺内法1,200mm以上、かつ、内法面積1.8㎡以上）	□ 仕様書 ■ 平面図 □	
	便所	■ 長辺内法寸法 （ 1,690 ） mm ≧ 1,300mm（軽微な改造を含む） ■ 便器の前方又は側方について、便器と壁の距離 （ 1000 ） mm ≧ 500mm （ドアの開放又は軽微な改造による長さを含む） ■ 便器の形式は腰掛け式		
	特定寝室	■ 特定寝室内法面積 （ 15.47 ） ㎡ ≧ 9.0㎡		
認定書等	認定書等活用	□ 認定書等の活用 番号（　　）		

注）太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注）書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。

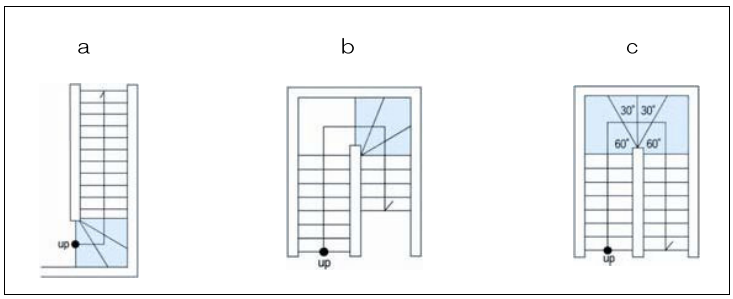
＜用語の解説＞

「特定寝室」　：高齢者等の利用を想定する一の主たる寝室のことをいいます。新築時に高齢者等がいない場合などであっても、高齢者等が利用することを想定する寝室を特定してください。

「日常生活空間」　：高齢者等の利用を想定する一の主たる玄関、便所、浴室、脱衣室、洗面所、特定寝室、食事室及び特定寝室の存する階（接地階を除く。）にあるバルコニー、特定寝室の存する階にあるすべての居室並びにこれらを結ぶ一の主たる経路をいいます。

「接地階」　：地上階のうち最も低い位置に存する階をいいます。

「勾配等の基準を適用しなくてもよい部分」　：a. 90度屈曲部分が下階の床から上３段以内で構成され、かつ、その踏面の狭い方の形状がすべて30度以上となる回り階段の部分
b. 90度屈曲部分が踊場から上３段以内で構成され、かつ、その踏面の狭い方の形状がすべて30度以上となる回り階段の部分
c. 180度屈曲部分が４段で構成され、かつ、その踏面の狭い方の形状が下から60度、30度、30度及び60度の順となる回り階段の部分



20140904

■設計概要

建築主	フリガナ	●●　●●		
	氏　名	●●　●●		
建設地	地名地番	●●県●●市●●●●		
	住居表示	●●県●●市●●●●		
構造概要	用　途	一戸建て住宅	工事種別	新築工事
	構　造	木造軸組工法　べた基礎	階　数	地下0階　地上2階
法的根拠	用途地域	第１種低層住居専用地域	防火地域	法２２条区域
	建蔽率・容積率	50　%・　100　%		
	高度地区	無	日影規制	3時間ー2時間（1.5m）
	その他指定	市街化区域	壁面後退	無

面積表

	1階床面積	2階床面積					延床面積
敷地面積	161.09 ㎡						
①申請部分	67.07 ㎡	60.45 ㎡	㎡				127.52 ㎡
②緩和部分	0.00 ㎡	0.00 ㎡	㎡				0.00 ㎡
①-②(容積対象)	67.07 ㎡	60.45 ㎡	㎡				127.52 ㎡
建築面積	67.07 ㎡						
建蔽率	41.64 %　≦　50 %			容積率	79.17 %　≦　100 %		

■仕上表

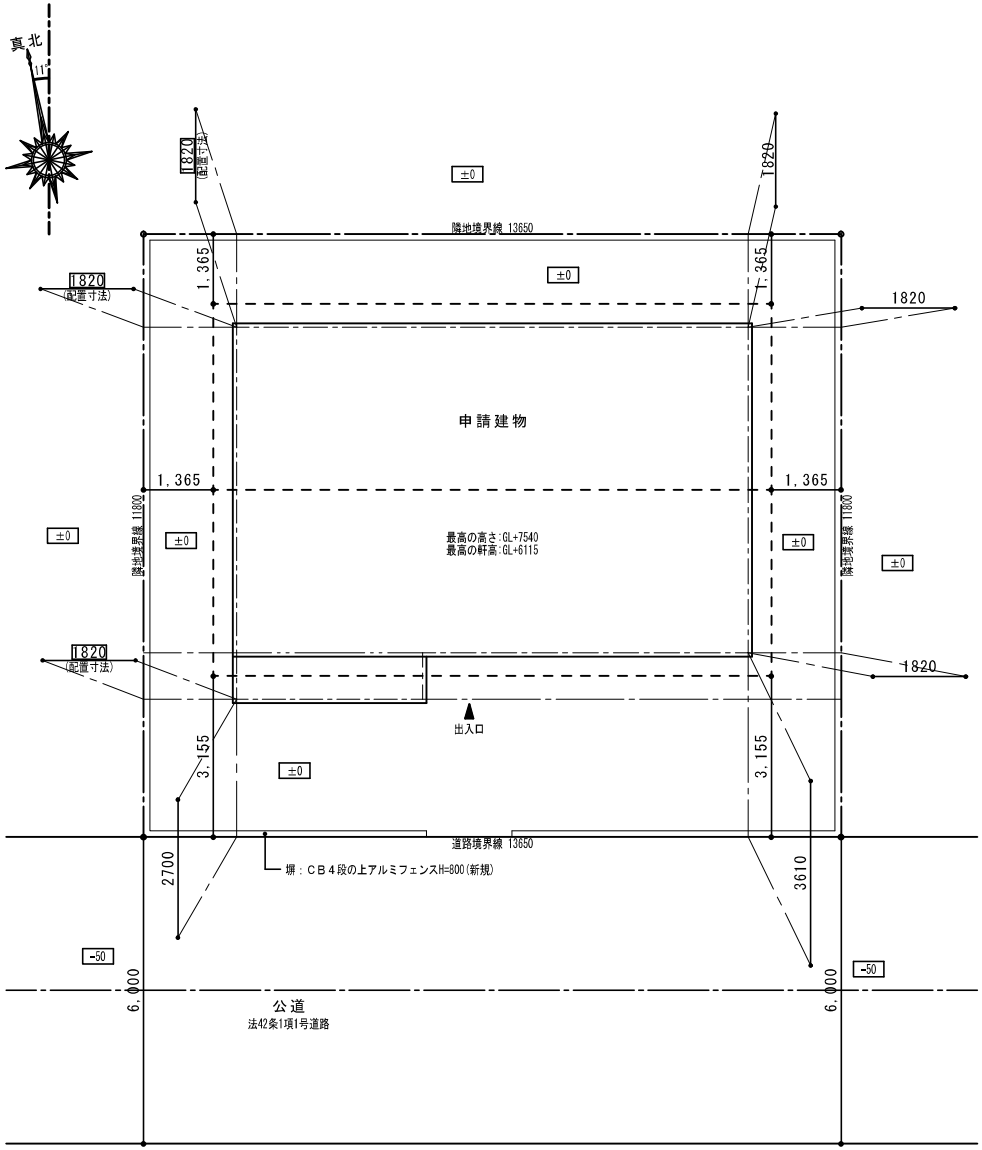
【外部仕様】

屋　根	カラーベストコロニアル葺き［不燃NW-●●●●］，雪止め：ｱﾙﾐ製
外　壁	サイディング張り［PC030BE-●●●●］
軒　裏	軒天井ボード　［QF030RS-●●●●］
開口部	延焼のおそれのある部分の外部開口部はすべて遮災性能を有する防火設備（令109条の2）:網入りガラス6.8mm
	※ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ(鉄材補強網入ｶﾞﾗｽ)も含む　(設置の場合)
バルコニー	床:構造用合板 厚28mm＋12mm＋不燃板［不燃NW-●●●●］＋FRP防水(DR-●●●●)
	腰壁：外壁同仕上　笠木：ｱﾙﾐ製
防湿工事	土間ｺﾝｸﾘｰﾄの下にﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚0.15mm敷とする。
指定建築材料	指定建築材料はＪＩＳ表示品，ＪＡＳ適合品を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｽﾍﾞｽﾄ含有品は使用しないものとする。
	ｼｯｸﾊｳｽ対策に基づく規制対象材料については、全て規制対象外材料（Ｆ☆☆☆☆）のみを使用する。
	天井裏等については、材料（Ｆ☆☆☆☆）を使用する。
換　気	換気は自然給気・機械排気の第３種換気設備とし、給気口、排気口には、防虫・防塵等の対策を施したものとする。
	給気ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝは100φｰｽｰﾊﾟﾝﾄｷｬｯﾌﾟ付とし、FDは告示仕様適合品を使用する。
	ﾀﾞｸﾄ使用の際は不燃材料（ｱﾙﾐｽﾊﾟｲﾗﾙ）とする。

■案内図

N

【内部仕様】		床	幅木	壁	天井	備考
1階	玄関	モルタル下地　タイル貼		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	廊下	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	便所	構造用合板厚28+9下地　塩化ビニール床製床材	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	洗面脱衣室	構造用合板厚28+9下地　塩化ビニール床製床材	木製幅木　H=60	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	ＬＤＫ	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	(コンロ廻り)			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3mm(NM-●●●●))		
	和室	構造用合板厚28下地　たたみ厚60		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
2階	寝室	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	子供室Ａ	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	子供室Ｂ	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	書斎	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	クロゼット	構造用合板厚28下地　フローリング厚12張り	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	便所	構造用合板厚28+9下地　塩化ビニール床製床材	木製幅木　H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	
	階段	階段ユニット　段板厚30		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5下地　ビニールクロス貼り[準不燃QM-●●●●]	

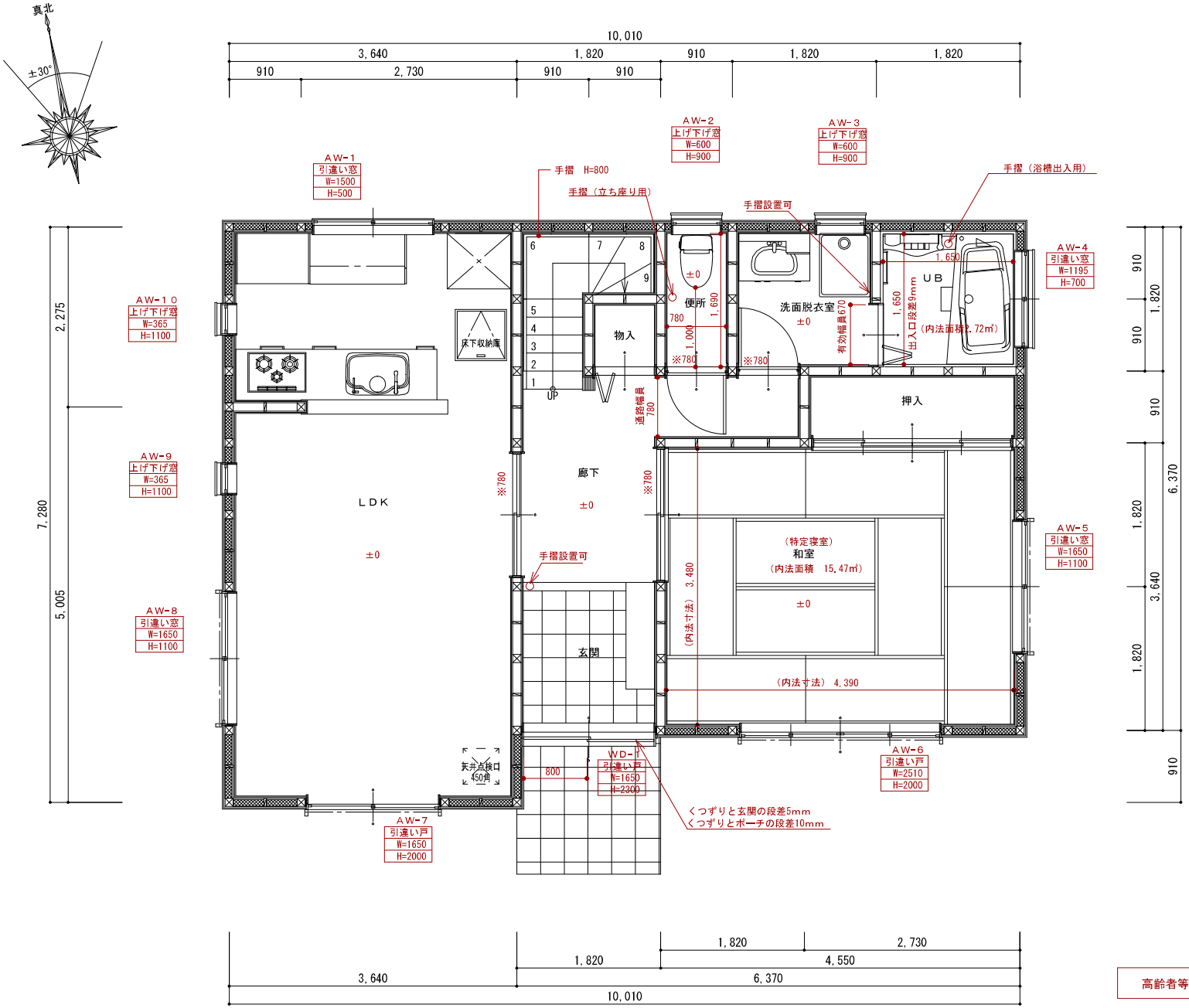


配置図　　１／１００

平均地盤面の算定式
(10,010+7,280)×2=34,580
0/34,580=0
平均ＧＬ=設計ＧＬ±０

門又は塀の築造は道路から2m以下とし、高さが1.2mを超えるものは当該1.2mを越える部分が網状のもの（２m以下)とする。（施行令１３０条の１２の３）

あんしん●●設計（株）	国土交通大臣登録第●●●●●●号 ●級建築士 ●● ●●	変更履歴	/	/	/	/	/	現場名	●●●邸新築工事	配置図	1/100	3	図面作成日 2015/03/24



	階段 （1～2階）
段 数	14段
階 高	2800
有効幅	W=760
蹴 上	R=200
踏 面	T=227
勾 配	R×2＋T＝627.5 550≦627≦650 R／T＝0.881×21 ＝18.50／21≦22／21
蹴込板	あり
蹴 込	30mm
段 鼻	あり 30mm

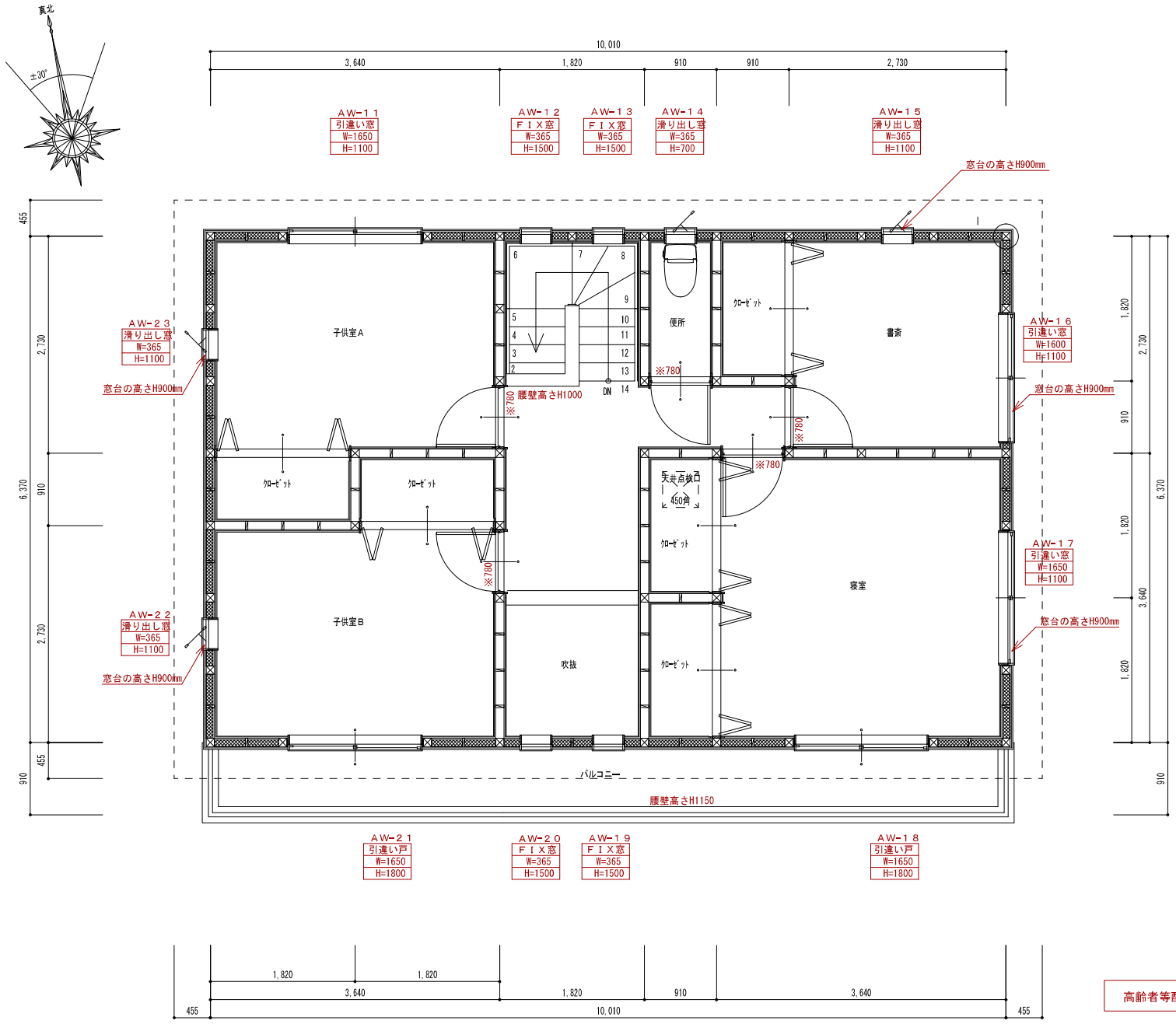
高齢者等配慮対策等級3対応

（凡例）

※780 軽微な改造により出入口の幅780mm確保可能

1階平面図 1／50

あんしん●●設計（株）	国土交通大臣登録第●●●●●●号 ●級建築士 ●● ●●	変更履歴	/ / / / /	現場名	●●●邸新築工事	1階平面図	1／50	5	図面作成日 2014/11/11



2階平面図　1／50

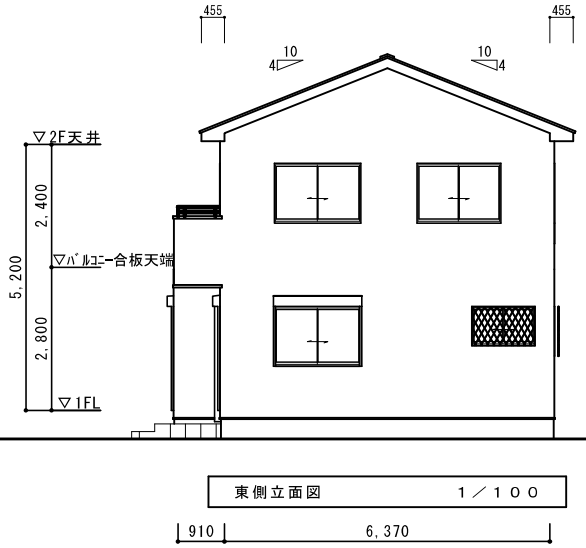
高齢者等配慮対策等級3対応

（凡例）

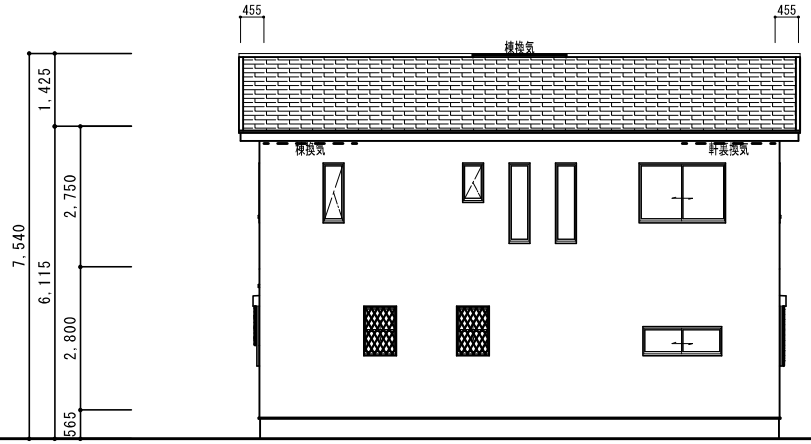
※780　軽微な改造により出入口の幅780mm確保可能

あんしん●●設計（株）	国土交通大臣登録第●●●●●●号 ●級建築士 ●● ●●	変更 履歴	/	/	/	/	/	現場名	●●●邸新築工事	2階平面図	1／50	6	図面作成日 2014/11/11

南側立面図　　1／100

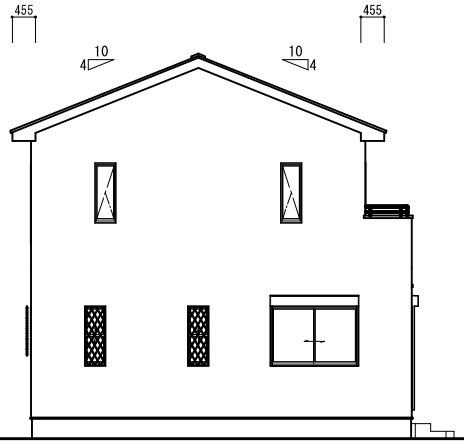


東側立面図　　1／100



北側立面図　　1／100

小屋裏換気計算	
必要軒裏換気計算	63.76㎡x1/900=0.07084→0.071m²
有効軒裏換気面積	軒裏換気(防火通気見切) L=1mあたり0.01m²
	0.01x7.28=0.0728 > 0.071 (OK)
必要棟換気計算	63.76㎡x1/1600=0.03985→0.04m²
有効軒裏換気面積	棟換気 L=1.82mあたり0.07m²
	0.07 > 0.04 (OK)



西側立面図　　1／100

あんしん●●設計（株）	国土交通大臣登録第●●●●●●号 ●級建築士 ●● ●●	変更履歴	/ / / / /	現場名	●●●邸新築工事	立面図	1／100	7	図面作成日 2015/03/24

バルコニー防水仕様
一般部防水立上り:水上から250mm
開口部下端防水立上り:水上から120mm
バルコニー勾配:1/50
オーバーフロー管:2か所

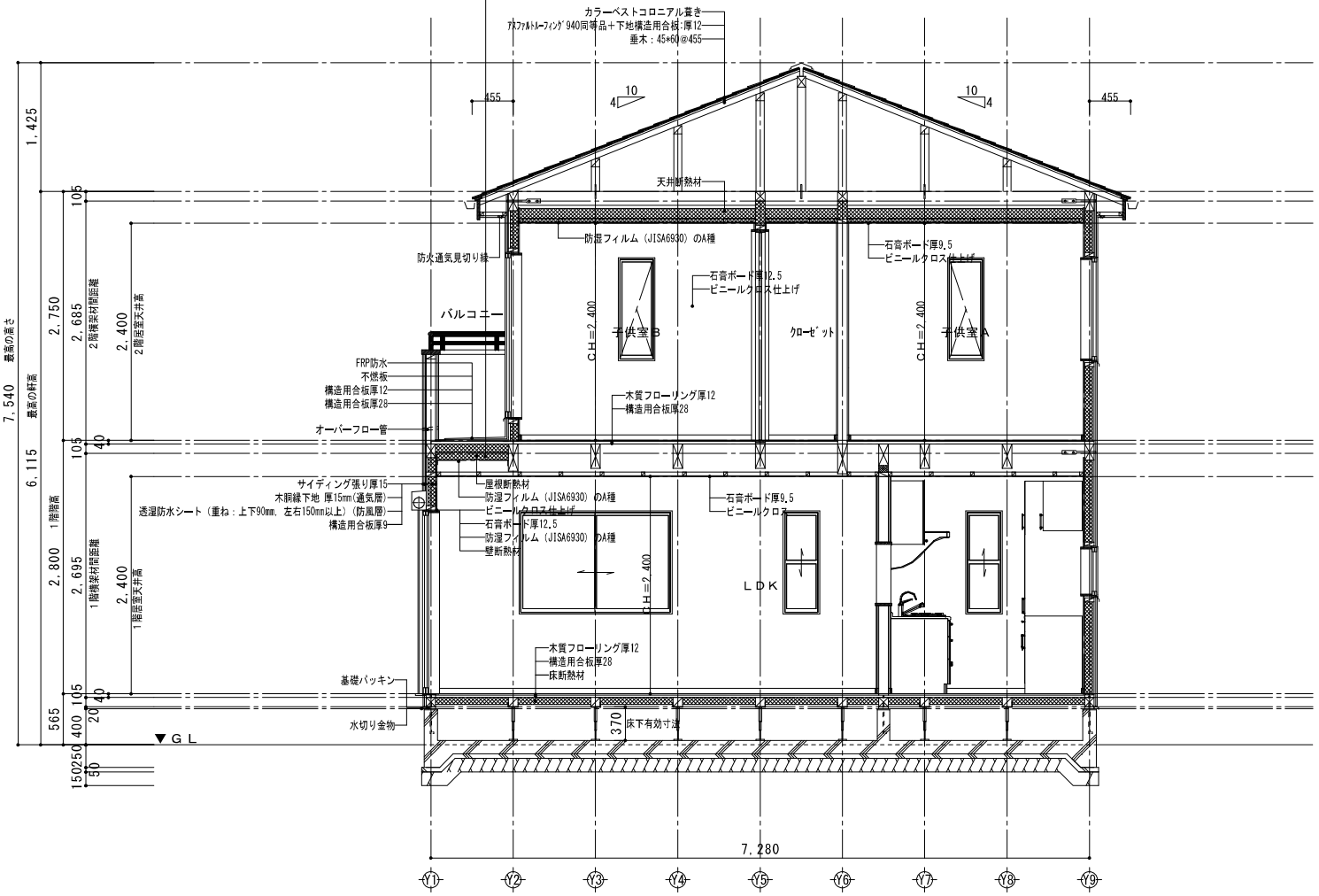
断熱材仕様に関しては仕様書に準ずることとする。

※注意事項

バルコニー下など通気層が設けにくい箇所は下記いずれかの対応により通気層を省略することができます。

①透湿抵抗が0.082㎡・s・Pa/ng以上の防湿フィルム（JISA6930）のA種等を断熱材の室内側に施工（Ⅰ地域以外）

②透湿抵抗比が規定値以上あることの確認



矩計図　　1／50

あんしん●●設計（株）	国土交通大臣登録第●●●●●●号 ●級建築士 ●● ●●	変更履歴	/	/	/	/	/	現場名	●●●邸新築工事	矩計図	1/50	9	図面作成日 2012/10/14